

生涯学習・社会教育関係職員研修講座【西北地区研修】

令和6年9月24日(火)13:30～16:10 中泊町総合文化センター「パルナス」 受講者22名

1 内容

【テーマ】 出番です！こどもまんなかの地域づくり、子育て支援

【講師】 認定 NPO 法人びーのびーの
NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会

理事長 おくやま 奥山 ちづこ 千鶴子 氏



【経歴】

横浜市において、子育て家庭の交流の場「親と子のつどいの広場事業」、さらに多機能型の「地域子育て支援拠点事業」が各区に開設され、全国にも広がった。

その他にも、内閣府・厚生労働省・文部科学省などの各委員会で要職を歴任し、公的機関での豊富な経験を通じて、子育て家庭へのサポートに関する幅広い知見を有している。

奥山氏の活動は、子育てが安心してできる社会づくりに大いに貢献している。

【講義要旨】

- こども家庭庁は、「こどもまんなか社会」を目指し、こどもと家庭の福祉や健康の向上を支援し、こどもの権利を守るためのこども政策に強力なリーダーシップをもって、効果的なこども政策を推進していくという役割を担っています。
- こどもが小学校に入る前までの時期（はじめの100か月）は、人生を幸せな状態（ウェルビーイング）で過ごすために最も大切な時期です。
- こどもは、様々な出会いと遊びを通じて外の世界に挑戦します。そして、不安な時に大人が寄り添うことで安心感を築きます。乳幼児期の育ちには、この「安心」と「挑戦」の繰り返しが重要です。
- こどもたちのウェルビーイングを育む「こどもまんなかまちづくり」は全ての世代のウェルビーイングも育みます。「人とのつながりの中で自分らしく生きる」を目指して、こどもたちの未来のために切れ目ない支援の輪をつくっていきましょう。

2 受講者の感想

- ・地域の人が子どもたちを支援する仕組みは都会だけではなく、地方の小さな町村でも必要不可欠であると強く認識させられました。
- ・地域資源・保護者を巻き込み、子育てできるように行政や地域の人たちと一緒に活動していきたいと思いました。
- ・安心できる居場所づくりの理念と大切にしたい視点について考えさせられました。周りではなく、「利用者本人が感じる居場所」となれる場を整えたいと思いました。全ての人にとって、豊かな環境を作っていくことができたかと深く感じました。